

平成19年度予算 施策別概要

532 元気で魅力ある農山漁村づくり

(主担当部：農水商工部)

53201 魅力が発揮できるむらづくり (農水商工部)

53202 都市との交流・共生による元気なむらづくり
(農水商工部)

< 施策の目的 >

(対象) 農山漁村地域の住民が

(意図) 多様な地域資源を生かした元気で魅力ある地域に誇りと愛着を持ち、交流が活発で心豊かな生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	農山漁村地域の主要交流施設利用者数	目標値	2010	3,679,100人(2009年度)
			2007	3,577,200人(2006年度)
		現状値	3,541,856人(2005年度)	

農山漁村地域において、農山漁村のくらしや食文化、農林漁業等を身近に体験することのできる主要な施設の利用者数(農水商工部農山漁村室調べ)。2010年度の目標値は、2011年春に把握できる最新のデータである主要交流施設利用者数の2009年度の実績数値により測ることとします。

県の取組 目標項目 (副指標)	心豊かな里づくりネットワーク登録地域数	目標値	2010	80地域
			2007	60地域
		現状値	50地域	

< 現状と課題 >

- ・社会情勢の変化に伴い、農山漁村地域では過疎化、高齢化が進むとともに、地域の基幹産業である農林水産業の低迷により、地域活力の低下、担い手不足が深刻化しています。
- ・特に、中山間地域では過疎化、高齢化の進展が著しく、集落機能の低下、耕作放棄地や荒廃森林が増加するとともに、地域が有する多面的機能の維持も困難になりつつあります。
- ・一方、心の豊かさへの志向などを反映して、美しい景観や伝統文化に恵まれた農山漁村に「ゆとり」や「やすらぎ」などの多面的な機能への期待感が高まっています。

< 平成19年度の取組方向 >

農山漁村地域の快適性、利便性、生産性の向上による環境と調和した地域の魅力の発揮に向けて、生活環境や生産基盤の整備に総合的に取り組みます。

農山漁村地域で育まれた自然、文化、景観、生産物などの豊かな地域資源を活かした地域住民の主体的な取組を展開するとともに、都市と農山漁村との多様な交流を促進し、地域住民だけでなく訪れた人々も満足できる魅力的な地域づくりに向けた取組を支援します。

< 主な事業 >

(一部重) 広域農道整備事業【基本事業名：53201 魅力が発揮できるむらづくり】

予算額： 1,500,030千円 1,134,000千円 *

事業概要：広域営農団地育成対策の一環として農業の生産性の向上、農村の交通利便性の向上等をはかるため、広域営農団地の基幹となる農道を整備します。

(一部舞) 農業集落排水整備事業【基本事業名：53201 魅力が発揮できるむらづくり】

予算額： 1,736,875千円 1,355,364千円 *

事業概要：農村地域の生活環境を改善するとともに、農業用排水や公共用水域の水質保全の改善をはかるために、農業集落において、し尿や生活雑排水を処理する施設の整備を行います。

(一部新)(重) 都市との共生による農山漁村再生事業

【基本事業名：53202 都市との交流・共生による元気なむらづくり】

予算額： 3,250千円 9,900千円

事業概要：棚田や里山の風景や郷土料理など農山漁村の魅力を広く発信するとともに、遊休農地や空き家など農山漁村の資源を活用し、都市と農山漁村との交流・共生を促進します。

(一部新) ふるさと水と土保全対策事業

【基本事業名：53202 都市との交流・共生による元気なむらづくり】

予算額： 5,000千円 6,906千円

事業概要：県内に残る美しい棚田や石積みなどの景観を価値あるものとして残していくため、農山漁村風景の維持継承活動を行うとともに、地域の独創的保全活動に対し支援を行います。

山村振興特別対策事業【基本事業名：53202 都市との交流・共生による元気なむらづくり】

予算額： 77,340千円 60,873千円

事業概要：山村地域等の振興をはかるため、市町等が行う交流施設、生産施設の整備等に対し支援を行います。